

audison

ISTINTO
INNOVATIVO

bit One HD 新商品のご案内

High Definition Signal Processor



Bit One HD

本体価格 ¥180,000/台

- プリアンプ：Low Level/High Level/AUX/OPTICAL 入力
- 13ch出力
- 第四世代SHARCプロセッサー

フルデジタル・マスターのクオリティを車内空間へ

2009年に初代のBit Oneでカーオーディオの世界に革新をおこした後も、デジタル分野における研究開発を継続し、このたび96kHz/24bitの内部処理に対応するBit One HDを発表するにいたりました。

現在、世界中の主要なレコーディングおよびマスタリング・スタジオでは、96kHz/24bitのデジタル処理が基準となり、デジタル・プロセッシングを複数回繰り返しても、ダイナミックレンジやイコライジング、および音の空気感などの細かいニュアンスがそのまま保たれます。audisonがブランドのキャッチフレーズとして掲げる“Istinto Innovativo”(イノベーションを求める本能)を通じて、プロの録音現場と同じサウンド・クオリティをお使いの車内のリスニング環境に実現します。

Bit One HDはaudison Bit Play HDで再生できるハイレゾ・ファイルに対応できるため、デジタル入力を実装したaudisonアンプと組み合わせれば、途中の処理にダウンサンプリングを全く含まない96kHz/24bitのフルデジタル・オーディオ・システムを構築することができます。

audison

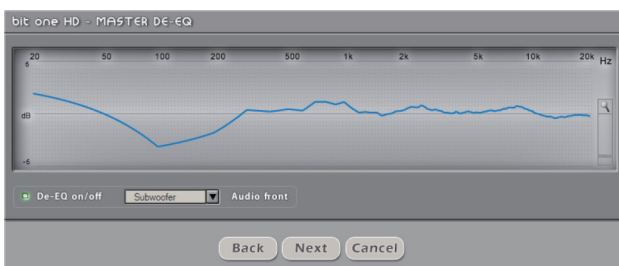
ISTINTO
INNOVATIVO



新しくなったソフトウェア

audisonのR&Dチームは新しいソフトウェア/ユーザー・インターフェイスを開発し、カーオーディオ業界で必要とされる特定の基準に沿ったかたちで、システム設定やキャリブレーションの手順をできるだけユーザー・フレンドリーに仕上げました。フィルタ関連のパラメータは視覚的に操作でき、他の機能についても直感的な操作が可能です。保存できるプリセット・メモリの数は以前のBit Oneの4から今回のBit One HDでは8と倍に増え、各チャンネルの入力感度を含むすべてのオーディオ設定を保存することができます。

ソフトウェアはWindows OS (Windows 7/8/10) に対応し、二種類のワーキング・モードを選択することができます。スタンダード・モードでは、シンプルな操作で設定が可能になります。各出力に割り当てられた機能に合わせてクロスオーバーやイコライザーの設定がガイドされるため、ほんの数クリックでシステムのチューニングが完了します。エキスパート・モードを使用した場合、全てのパラメータに自由にアクセスすることが可能になり、フルカスタムのチューニングを体験することができます。

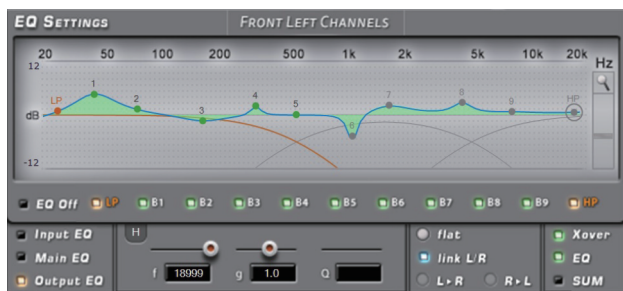


タイム・アラインメントとFIRフィルタによるDE-EQ

Bit One HDには波形のサミングやEQのレストア処理の前に純正ソースのタイム・アラインメントを自動的に補正するキャリブレーションが導入されています。DE-EQ処理をより効率的におこなうためにFIRフィルタが採用されており、純正ソースにかかっているいかなるイコライゼーションも補正することができます。

audison

ISTINTO
INNOVATIVO



三つの異なるタイプのイコライゼーション・メソッド

車両内のアコースティック・レスポンスを完全にコントロールするために、周波数特性を調整する三種類の異なるイコライゼーションを開発しました。

Input EQ: 純正ヘッドユニットで強調されているレスポンスをフラットな状態に補正

Main EQ: リスナーの好みに合わせて、システム全体のサウンドを調整

Output EQ: 各チャンネルに割り当てられたスピーカーの特性にあわせたイコライゼーションを適用

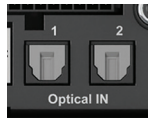
選び抜かれた低ノイズDAコンバータ

Bit Play HDにはハイエンドDAコンバータが採用されており、Bit Play HDで再生される96kHz/24bitのハイレゾ・ファイルのダイナミクスの利点を存分に生かしたFull DAシステムを構築することができます。

RVA(Remote Volume Aux)



Bit One HDに接続されたソースを純正ヘッドユニットから選択し純正ボリュームを使用するためのターミナル



ダブル・デジタル入力

Bit One HDには二系統のオプティカル・デジタル入力の実装されているため、例えば、純正システムのデジタル・シグナルをインターフェイス経由で一方に入力し、他方にはBit One HDを接続して96kHz/24bitのハイレゾ・ファイルを入力するといったFull DAシステムの構築が可能になります。

新しいDRC / デジタル・マルチメディア・プレイ・リモートコントロール



Bit One HDに付属するリモートコントロールのDRC MPは従来のDRCと比較して全く新しいものに生まれ変わっています。全体的なサイズはスリムでコンパクト、ユニットの色はブラックに変更され、ボリューム・コントロールやボタンのRGBライトの色をカスタマイズすることも可能です。

ボリューム・ノブは上下左右の操作ができるジョイスティックとなり、メニューをより直感的にブラウズすることができます。ディスプレイの色や輝度の調節、そしてBit Play HDを接続している場合はそのコントロールも可能になります。

黒の背景に白文字の表示は昼の明るい中でも抜群の視認性を発揮し、輝度センサーによって自動的にデイ/ナイト・ビューを切り替えることができます。

audison

ISTINTO
INNOVATIVO

詳細スペック

電源電圧	11~15VDC	クロスオーバータイプ	フルレンジ/ハイパス/ローパス/バンドパス
最小アイドル電流	0.75A / 2mA (電源オフ・DRC MPなし) 5mA (電源オフ・DRC MPあり)	クロスオーバーモード/スロープ	Linkwitz 12/24/36/48dB Butterworth 6/12/18/24/30/36/42/48dB Bessel 6/12/18/24/30/36dB
リモート電圧	IN: 6.5~15V(1mA) / OUT: 10~15V(130mA)	クロスオーバー周波数	10Hz~20kHz/70ステップ
全高調波歪率 (1kHz)	0.004%	フェーズコントロール	0/180°
再生周波数帯域 (-3dB)	4.5~32kHz	イコライザ	パラメトリック・イコライザ、11ポイント 20Hz~20kHz、+/-12dB、Q値(1~10)
SN比(@A weighted)	96dB(Master) / 95dB(AUX) / 105dB(Optical IN1&IN2)	タイムアライメント	距離: 0~756cm ディレイタイム: 0~22ms ステップ: 0.04ms/1.4cm
チャンネルセパレーション(1kHz)	77dB	PCとの接続インターフェイス	Micro USB (1.1/2.0/3.0対応) x 1
入力感度	Pre Master 0.7~6.5V Speaker Master 2~16V AUX Master 0.3~5V	本体サイズ (幅 x 奥行き x 高さ)	233 x 148 x 43.6mm
入力インピーダンス	Pre In/Speaker In/AUX 15kΩ	本体重量	1.8Kg
最大出力レベル(0.1% THD)	4V RMS		
入力	High Level (スピーカー) Ch 1~Ch 12 Low Level (プリ) Ch 1~Ch 6, AUX (L/R) Digital Optical S/PDIF x 2系統: max 192kHz/24bit/PCM		
出力	Low Level (プリ) Ch 1~Ch 13 Digital AD Link 1 Ch 1~Ch 8 Digital AD Link 2 Ch 9~Ch 13		

DSP / コンバータ	"ANALOG DEVICES 32bit浮動小数点 SHARCプロセッサ (Clock 450MHz) / Cirrus Logic Hi-End 24bit/192Hz A/D D/Aコンバータ"
入力	ハイレベル入力 x 12ch / RCA x 6ch AUX x 2ch オプティカル・デジタル(TOSLINK) x 2系統 最大192kHz/24bit/PCM
メモリ	プリセット x 8個 (A~H) / DRC MPから呼び出し可能
出力	アナログ x 13ch / デジタルAD LINK x 2系統 (AD LINKは一本のCAT 5.5 LANケーブルに13ch分のデジタル・オーディオ・シグナルを伝送し、AD LINKに対応したアンプに接続可能)
電源オン/オフ	ART™ (オートマッチック・リモート・ターンオン/オフ: ハイレベル入力) / DRC MP
システム設定	専用のPCソフトウェアを使用して入力シグナルをキャリブレーションし、入力チャンネル数、アンプ/スピーカーのシステム構成にもとづいてシステム設定が可能
"シグナル・サミング、DE-EQ、タイム・ディレイ"	純正ヘッドユニットからのマルチ・チャンネル・シグナルをステレオ・シグナルに再構築(シグナル・サミング機能)、タイム・ディレイによる補正、マルチ・アンプ・システムのイコライジング解除(DE-EQ)といった機能に特化したアルゴリズムを実装
入力/出力調整	メインの入力シグナルの入力感度を自動調整(付属CD/DVDのウィザード使用) マニュアル入力感度調整(AUX入力) 各出力チャンネルのレベルを独立してコントロール(-40~0dB)、システム全体を微調整
ダイナミックEQ	再生する楽曲のレベルの高低に合わせて動的にイコライジングを適正化
イコライザ	Input EQ: 5ポイントのFIRパラメトリック・イコライザ x 4(各入力ソース: Master、AUX、OPTICAL 1 & 2) Output EQ: 11ポイントのIIRパラメトリック・イコライザ x 13ch出力 Main EQ: 5ポイントのFIRパラメトリック・イコライザ x 1 (出力全体を調整するEQ)
パスブースト	パラメトリック・イコライザを使用した低域(ウーファー/サブ・ウーファー)の増強: ユーザーによる設定、DRC MPからのオン/オフ可能
クロスオーバー	フィルタ・タイプ: フルレンジ/ハイパス/ローパス/バンドパス カットオフ周波数: 10~20kHz / 70ステップ カットオフ・スロープ: 6~48dB/Oct アライメント: リンクウィッツ、バターワース、ベッセル ミュート/ソロ機能: 各出力毎にオン/オフ可能 フェーズ・コントロール: 各出力毎に設定可能(0° / 180°)
タイム・アライメント	スピーカーとリスニングポイントの実測距離をもとにタイム・ディレイを設定。また、0.01msステップでマニュアルによる微調整も可能
オート・リスタート	DSPの不具合時に自動で再起動
DRC MP	機能: マスター・ボリューム(-60~0dB)、サブ・ボリューム(-12dB~0dB)、バランス、フェーダー、入力ソース選択、プリセット・メモリ呼び出し、パスブースト機能オン/オフ
PCとの接続インターフェイス	Micro USB (1.1/2.0/3.0対応) x 1
Bit One HD専用ソフトウェア	対応OS: Windows Vista、Windows 7/8/10 (32/64bit対応) 推奨ハードウェア: CPU 1.5GHz以上、メモリ 1GB以上 画面解像度: 800 x 600以上